

経済施設等対策について

1. 庄内温泉筑豊ハイツについて

①平成28年8月1日（経済建設委員会）以降の動きについて

- 一 再整備に係る民間事業者からの意見や提案を広く受けたい旨の記事掲載を出版社等に依頼。下記2誌掲載済。

- ・九建日報 9月5日号（日刊・発行部数25,000部）

主な購読者・・・土木関係業者・団体及び関連機械・資材業者、建設関係業者・団体、
建設設計業者、商社、金融機関 等

- ・商業施設新聞 9月6日号（週刊・発行部数20,000部）

主な購読者・・・デベロッパー、建設設計業者、空調・照明等建物設備業者、
建築資材業者、テナント企業 等

②今後のスケジュール等について

引き続き民間事業者へのヒアリングを継続し、市に有効な方向性を探る。

2. 飯塚市地方卸売市場について

①平成28年8月1日（経済建設委員会）以降の動きについて

- 一 飯塚市地方卸売市場等施設整備基本構想策定支援業務委託

- ・平成28年8月 8日（月） 第2回選定委員会（プレゼンテーション2社）

- ・平成28年8月 9日（火） 業務委託業者決定

（決定先：公益財団法人九州経済調査協会）

- ・平成28年8月18日（木） 契約締結

- 一 飯塚市地方卸売市場等施設整備検討委員会

- ・平成28年9月 5日（月） 第1回飯塚市地方卸売市場等施設整備検討委員会
代表的意見・・・「市場整備には商圏の詳細な分析をし、かつ現状把握と将来見通し
をしっかりと行うことが重要」

「場外市場を検討するのであれば、卸売市場整備後に議論することは
難しいので、卸売市場の整備とあわせて場外市場を検討すべき」

配布資料及び会議録は市のホームページにて公開中

別紙2・・・委員構成

②今後のスケジュール等について

- ・飯塚市地方卸売市場等施設整備検討委員会

- 平成28年10月 5日（水） 第2回検討委員会

予定・・・市有地候補地検討

- 平成28年11月 1日（火） 第3回検討委員会

予定・・・先進地視察

- 平成28年12月 第4回検討委員会

- 平成29年 2月 第5回検討委員会

H28.9.5
九建日報

具体的提案を募集

筑豊ハイツの再整備検討

飯塚市

飯塚市は、庄内温泉筑豊ハイツの再整備を検討している。民間の意見を参考にし、再整備実施の可否、施設の方角性、民間委託の可能性とこの際

の市の負担割合などを模索しており、再整備を行う場合は今年度中に基本構想案を取りまとめ、来年度にプロポーザルによる一般公募を実施。平成

32年3月の完成を目指すとしている。

現在の筑豊ハイツは、6階建延べ3376㎡の本館と2階建延べ636㎡の別館で構成され、敷地面積は2万2478㎡。市が所有し、(一財)筑豊勤労者福祉協会に管理を委託している。テニスコート、サッカー場、多目的グラウンドなど複数の運動施設を有する県営公園「筑豊緑地」に隣接しており、主に「飯塚国際車いす大会」や学生

のスポーツ合宿の際に宿泊施設として利用されているもの。

本館が昭和45年、新館が昭和55年に建設され、築40年前後経過して老朽化が目立ち、また耐震性やバリアフリーにも問題を抱えているため、再整備の検討を進めている。

再整備にあたり民間事業者からの意見を募集しており、宿泊施設の構想や付帯施設案に加えて、建設・運営などを民間に委託する場合の各種資金に対する市の負担割合などについての具体的な提案も求めている。募集した意見は、基本構想案の

検討や一般公募の際に参考にするとしている。

民間に委託する場合のスケジュールは、今年度中に基本構想案をとりまとめ、来年度にプロポーザルによる一般公募を行う予定。2020年パラスピックの車いすテニスイ競技の事前合宿候補地としての誘致活動を行っていることから、完成目標を平成32年3月末に設定している。

意見や構想、資金の負担割合の提案、その他問い合わせなどは飯塚市経済部経済施設等対策室まで。電話は0948-22-5500番。

H28.9.6
商業施設新聞

飯塚市庄内温泉筑豊ハイツ 抜本的な再整備を計画

民間からの提案募集中

飯塚市経済部経済施設等対策室(福岡県飯塚市新立岩5-5、☎0948-22-5500)は、所有する宿泊・研修施設「飯塚市庄内温泉筑豊ハイツ」の再整備を計画しており、民間事業者の提案を募集している。

同施設は飯塚市仁保8-30に位置する宿泊・研修施設で、1973年に竣工したRC造り6階建ての本館と80年竣工のRC造り2階建ての新館で構成する。周辺の筑豊緑地にはテニスコートや野球場、プールなどの施設が豊富であり、宿泊者はこれらの施設利用客や

多くの宿泊客が利用している同施設だが、近年は宿泊ニーズの変化などで宿泊者数が減少傾向にある。また建物の老朽化、耐震性などに問題を抱えており、現状のまま大規模改修を行うとすると莫大な費用が掛かると見込まれている。そのため公的施設としては20年度をめどに廃止し、その後抜本的な再整備を計画することとなった。

再整備計画はテニスコートの管理や会議・研修室の役目を担う管理棟と、宿泊

室の建設を核とし、これに加えてレストランなど民間の集客施設を付帯施設として整備する。事業手法は、コストの低減や民間ノウハウの活用と市の事業としての公共性を両立するため市が所有する施設の運営を民間の事業者委ねるPPP/PFI方式を進める方針。

飯塚市は16年度中に基本構想案をとりまとめ、17年度にはプロポーザルによる一般公募、20年3月末の新規完成を目指す。現在は施設規模や構想、付帯施設案などについて様々な民間事業者から具体的な提案を募集中だ。

飯塚市地方卸売市場等施設整備検討委員会 委員構成(14人)

委員長	近畿大学産業理工学部 学部長補佐	日高 健
副委員長	飯塚市経済部長	田中 淳
	吉田秀樹公認会計士事務所 公認会計士	吉田 秀樹
	福岡市農林水産局中央卸売市場青果市場ブランド化推進担当課長	檜崎 美德
	福岡県飯塚農林事務所 農林振興課長	笹川 文彦
	飯塚商工会議所 専務理事	濱崎 安司
	ファーマインド新筑豊青果(株) 代表取締役社長	安藤 俊浩
	福岡県魚市場(株)飯塚魚市場 市場長	谷本 旭
	(株)飯塚花市場 代表取締役	永井 潤子
	新筑豊青果商業協同組合 代表理事	田代 裕
	飯塚水産物商業協同組合 理事長	西山 徳昭
	飯塚花商組合 組合長	古賀 勲
	飯塚花き園芸組合 組合長	水間 良雄
	飯塚総合卸売センター関連組合 組合長	永松 仁

専用場外発売所の開設について

1. 「オートレース三股」概要について

- ① 名 称 「オートレース三股」
- ② 場 所 宮崎県北諸県郡三股町大字宮村2075番1
サテライト三股内
- ③ 設置者 株式会社サテライト宮崎
- ④ 管理施行者 飯塚市
- ⑤ 座席数 201席（オートレース・競輪共用）
（内訳）一般席156席、身障者用席3席、
ロイヤル席42席
- ⑥ 窓口数 3窓
（内訳）オートレースコーナー
自動発払窓口2窓、有人窓口1窓
- ⑦ 発売日数 年間340日程度を予定
- ⑧ オープン日 平成28年10月下旬（予定）

2. 「オートレースあだたら」概要について

- ① 名 称 「オートレースあだたら」
- ② 場 所 福島県二本松市渋川字舟山180-3
サテライトあだたら内
- ③ 設置者 有限会社本陣
- ④ 管理施行者 伊勢崎市
- ⑤ 座席数 674席（オートレース・競輪共用）
（内訳）一般席442席、特別観覧席208席、
VIP席24席
- ⑥ 窓口数 5窓（1階：自動発払窓口2窓、有人窓口1窓）
（2階：自動発払窓口1窓、有人窓口1窓）
※有人窓口は競輪と共用
- ⑦ 発売日数 年間340日程度を予定
- ⑧ オープン日 平成28年8月7日（日）

3. 「オートレース宮城」概要について

- ① 名 称 「オートレース宮城」
- ② 場 所 宮城県柴田郡村田町大字村田字小池 3 3 6
サテライト宮城内
- ③ 設置者 株式会社サテライト宮城
- ④ 管理施行者 伊勢崎市
- ⑤ 座席数 5 1 6 席（オートレース・競輪共用）
（内訳）一般席 3 2 6 席（内オートレースエリア 3 2 席）
一般有料席 8 4 席、特別観覧席 1 0 6 席
- ⑥ 窓口数 4 窓（1 階：自動発払窓口 2 窓、有人窓口 1 窓）
（2 階：自動発払窓口 1 窓）
※有人窓口は競輪と共用
- ⑦ 発売日数 年間 3 4 0 日程度を予定
- ⑧ オープン日 平成 2 8 年 8 月 7 日（日）

4. 「オートレースしおさい鹿島」概要について

- ① 名 称 「オートレースしおさい鹿島」
- ② 場 所 茨城県鹿嶋市粟生字東山 2 3 3 9 - 1
サテライトしおさい鹿島内
- ③ 設置者 株式会社三和
- ④ 管理施行者 川口市
- ⑤ 座席数 4 8 4 席（オートレース・競輪共用）
（内訳）一般席 3 4 0 席、特別観覧席 1 2 0 席
ロイヤル席 2 4 席
- ⑥ 窓口数 5 窓（1 階：自動発払窓口 2 窓、有人窓口 1 窓）
（2 階：自動発払窓口 1 窓、有人窓口 1 窓）
※2 階有人窓口は競輪と共用
- ⑦ 発売日数 年間 3 4 0 日程度を予定
- ⑧ オープン日 平成 2 8 年 8 月 1 9 日（金）

5. 「オートレース大和」概要について

- ① 名 称 「オートレース大和」
- ② 場 所 宮城県黒川郡大和町まいの四丁目 5 番 1
サテライト大和内
- ③ 設置者 松戸公産株式会社

- ④ 管理施行者 川口市
- ⑤ 座席数 335席 (オートレース・競輪共用)
(一般席、特別観覧席、ロイヤル席等)
- ⑥ 窓口数 5窓
(一般席：自動発払窓口2窓、有人窓口1窓)
(ロイヤル席：自動発払窓口1窓、有人窓口1窓)
- ⑦ 発売日数 年間340日程度を予定
- ⑧ オープン日 平成28年9月10日(土)

経済部公営競技事業所経営管理課

- ①第19回九韓会議（指宿会合、2012年11月）において日韓財団及び飯塚研究開発機構が「九韓・医療介護連携フォーラム」を共同提案し2015年2月まで3年間実施した実績を持つこと
- ②第22回九韓会議（釜山会合、2015年11月）においてヘルスケアをテーマに意見交換が行われ、局長総括において、今後具体的ビジネスに直結する事業の検討など更に踏む込んだ意見交換を期待する旨のコメントがあったこと
- ③2015年10月にソウルで開催された「日中韓経済貿易大臣会合」において、大臣から事例として医療・ヘルスケア分野の取組を期待する旨の発言があったこと等を踏まえ、医工学連携の先進地である福岡県飯塚市において第23回会合を開催。

開催概要

- ◆ 日時 2016年10月12日（水）
- ◆ 場所 福岡県飯塚市「のがみプレジデントホテル」
- ◆ 主催【日本】九州経済国際化推進機構、九州経済産業局、（一社）九州経済連合会
【韓国】産業通商資源部、（社）韓日経済協会
- ◆ 参加者数（見込）
約130人（日本80人、韓国50人）

第23回九州(日本)・韓国経済交流会議 日程

（日程）2016年10月12日（水）～14日（金） 【本会議 2016年10月12日（水）】

（場所）福岡県飯塚市「のがみプレジデントホテル」

（全体テーマ）医工学連携、ヘルスケア産業

日時	10月12日（水）	10月13日（木）		10月14日（金）
AM	9:00→10:20 仁川空港→福岡空港(OZ132)	8:45～11:30 産業視察（飯塚市内 医療機関）		9:30～10:30 産業視察 （安川電機口 ポット村） 移動：北九州市 →福岡空港
PM	12:00～15:00 産業視察 （飯塚市インバウンド事業） 15:30～18:20 九韓会議 本会議 18:30～20:30 レセプション （宿泊：飯塚市）	11:40 昼食会@麻 生大浦荘～12:40 移動：飯塚市→北九州市 14:30～15:30 産業 視察（安川電機口 ポット村） 移動：北九州市→福岡空港 20:20→21:40 福岡空港→仁川空港(OZ135)	13:00～ 17:00 商談会 九韓ビ ジネス 商談会 （宿泊：北九 州市）	「日韓 第3国 連携ラ ウンド テーブ ル」 ※日 韓財 団事 業 （宿泊：北九 州市）

第23回九州(日本)・韓国経済交流会議 プログラム案

○九韓会議プログラム (逐次通訳)

日時：2016年10月12日(水) 15:30-18:20

場所：福岡県飯塚市「のがみプレジデントホテル」4F 王朝、大和

テーマ(仮)：医工学連携及びヘルスケア産業分野における九韓連携に向けて
プログラム：

- | | |
|-------------|--|
| 15:30 | 開会 |
| 15:30~15:45 | 両国代表挨拶 (7.5分×2者)
・ 経済産業省 九州経済産業局長
・ 韓国産業通商資源部 通商協力局長 |
| 15:45~18:05 | 協議セッション
「テーマ①：医工学連携」
・ 九州側からの事例発表 (25分)
・ 韓国側からの事例発表 (25分)
「テーマ②：ヘルスケア産業」
・ 九州側からの事例発表 (25分)
・ 韓国側からの事例発表 (25分)
○各国からのコメント (2テーマ×代表者1者ずつ×2国、合計4者)
○フロアとの質疑応答 (20分) |
| 18:05~18:20 | 総括 (7.5分×2者)
・ (社)韓日経済協会 副会長
・ 九州経済国際化推進機構 会長 |
| 18:20 | 閉会 |



第23回九州(日本)・韓国経済交流会議の 御案内



九州経済国際化推進機構では、九州と韓国が、中小企業を中心に、それぞれが有する資金、技術、人材等の地域資源を相互に補完しながら、貿易、投資及び産業技術の交流拡大と地域間交流を促進することを目的に、「九州(日本)・韓国経済交流会議」をこれまでに22回開催してまいりました。本年は、医工学連携の先進地「福岡県飯塚市」において第23回会合を下記のとおり開催致しますので、皆様、積極的に御参加下さい。

**9月12日～
参加者募集!**

開催日：平成28年10月12日(水) 15:30～20:20
会場：のがみプレジデントホテル(福岡県飯塚市新立岩12番37号)
主催：九州経済国際化推進機構、九州経済産業局、(一社)九州経済連合会、
 韓国産業通商資源部、(社)韓日経済協会ほか

プログラム：
 一開会、両国代表挨拶
 一事例紹介セッション

(テーマ：医工学連携)

◆e-ZUKA 発、医工学連携の取組 **飯塚市経済部長 田中 淳(たなか あつし) 氏**

(発表者略歴)
 1980年3月 獨協大学卒業 2008年4月 企業誘致推進室主幹就任
 1980年4月 飯塚市役所入庁 2014年4月 市民環境部次長就任
 2001年4月 商工振興課係長就任 2015年4月 こども・健康部長就任
 2005年4月 商工振興課課長補佐 2016年4月 経済部長就任(現職)

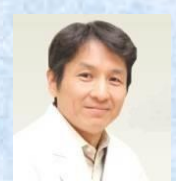


◆韓国医工学の現況と韓日協力方策 **東國大学 医生命工学科 教授 キム ソンミン 氏**

(テーマ：ヘルスケア産業協力)

◆健康寿命を延伸し超高齢社会に対応する体験型健康医学教室事業
株式会社 True Balance 代表取締役 山下 積徳(やました つみのり) 氏

(会社概要)	(発表者略歴)
●所在地：鹿児島県鹿児島市	1985年 鹿児島大学第一内科で、循環器科を専攻
●事業内容：フィットネスクラブの経営、飲食店の経営、教育・研修事業	1993年～ 鹿児島市立病院で心臓病の救急に従事
●2014年九州ヘルスケア産業推進協議会 第1回ヘルスケア産業づくり貢献大賞受賞	2000年～ 枕崎市立病院で院長として地域医療に従事
	2004年 健康増進医学を地域に根づかせることを目的に内科クリニック開業と同時に、健康複合施設True Balanceを開業
	2013年 天文館に体験型健康増進医学教室 Tsuminory Style 医学教室2号店をopen、現在にいたる



◆【韓国側発表】『韓日間ヘルス医療産業の協力可能性』
対外経済政策研究院 Asia 太平洋本部 日本チーム研究委員(日本チーム長)金 奎坂(KIM GYUPAN)氏

一質疑応答、全体総括、閉会
 一交流会【会費制：6500円】

定員：70名程度
参加申込方法：9月26日(月)までに申込用紙(裏面)によりお申込みください。

《お問い合わせ》
九州経済国際化推進機構 九州(日本)・韓国経済交流会議事務局
 ○九州経済産業局 国際部国際事業課 岡山、古澤 TEL 092-482-5943 FAX 092-482-5321

九州経済国際化推進機構 九州(日本)・韓国経済交流会議事務局 大楠、崔(チエ)あて

FAX:092-724-2102 E-mail: ohgusu@kyukeiren.or.jp; choi@kyukeiren.or.jp (必ず2名あてに送付してください。)

申込締切 : 平成28年9月26日(月)

第23回九州(日本)・韓国経済交流会議参加申込書
(会場:福岡県飯塚市 のがみプレジデントホテル TEL 0948-22-3840)

所属 機関名						(連絡備考) ・御記入いただいた情報は、本会議に係る連絡調整にのみ利用させていただきます。
参加者		1	2	3	4	5
	役職					
	氏名					
	英字					
氏名等	参加 会合 ※	10/12 本会議				
		10/12 交流会				
※参加会合欄は、参加予定のものに「○」を付けてください。						
連絡先	TEL:() — FAX:() — 担当者: E-mail:					

「飯塚地域自動車産業研究会・直鞍自動車産業研究会・直鞍産業振興世界戦略研究会
平成28年度 合同セミナー」について

【1】目 的

自動車産業研究会は、自動車産業への新規参入及び受注拡大を目的に、会員間だけでなく県内他地域の自動車関連企業の訪問や工場見学と併せ、意見交換会等ネットワークづくりに取り組んでいます。

現在、福岡県には6つの自動車産業地域参入協議会がありますが、今回、飯塚地域と直鞍地域の自動車産業研究会と併せ、直鞍地域の他産業研究会が交流をすることで、他地域の取り組みを知るとともに、企業間の連携促進を目的にしています。

【2】開 催 日 平成28年10月18日(火)

【3】場 所 筑豊ハイツ 住所：福岡県飯塚市仁保 8-30 電話：0948-82-0240

【4】定 員 50～60社程度

【5】対 象 者

1. 飯塚地域自動車産業研究会 会員企業
2. 直鞍自動車産業研究会 会員企業
3. 直鞍産業振興世界戦略研究会 会員企業

【6】開催内容

1. 15:00～開会挨拶（30分）「各研究会（3団体）紹介及び会長挨拶」
2. 15:30～福岡県中小企業センターからのお知らせ（15分）
福岡県ものづくりカイゼン企業支援センターからのお知らせ（15分）
<休憩>（10分）
4. 16:10～基調講演（60分前後）
「トヨタ自動車九州株式会社 代表取締役会長 二橋 岩雄 氏」
<休憩>（10分）
5. 17:20～交流会（90分）

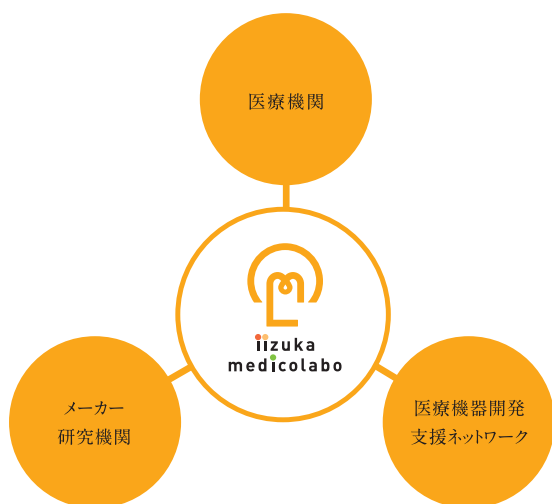
コラボから生まれる、明日の医療イノベーション。



始動!

iiizuka medicolabo(飯塚メディコラボ)は、「Patient First」を理念に
飯塚医療イノベーション創出プロジェクト
(事務局 飯塚病院イノベーション推進本部)が
新たに進めているプログラムです。

“医療の現場”と“開発の現場”の架け橋へ。



メディコラボプログラムは、「Patient First」を合い言葉に、医療機器・材料・システム・アプリの開発およびサービス創出を目指す方々と、臨床の現場をつなぎ、現場のニーズをもとに共同開発・研究を進めていくプログラムです。飯塚病院イノベーション推進本部(Innovation Promotion Office:IPO)が「医療の質向上」のための取り組みを組織的にサポートします。

イノベーション推進本部の強み

<p>地域の医療機関とのパイプ</p> <ul style="list-style-type: none">● 飯塚病院● 飯塚市立病院● 済生会飯塚嘉穂病院	<p>Fogarty Institute for Innovation (FII)との交流</p> <p>2013年にスタッフを研修のため派遣 その後も定期的に意見交換を実施</p>
<p>多数の製販メーカーおよび医療分野への新規参入メーカーとの連携</p> <p>メーカーとの多数の共同開発の実績 (2012年10月の組織発足から14団体と連携)</p>	<p>医療機器開発支援ネットワークとの連携</p> <ul style="list-style-type: none">● 飯塚医療イノベーション推進会議● ふくおか医療福祉関連機器開発実証ネットワーク● 九州ヘルスケア産業推進協議会(HAMIQ)

飯塚病院イノベーション推進本部

飯塚医療イノベーション創出プロジェクト参加組織

福岡県済生会
飯塚嘉穂病院

飯塚病院
innovate and evolve

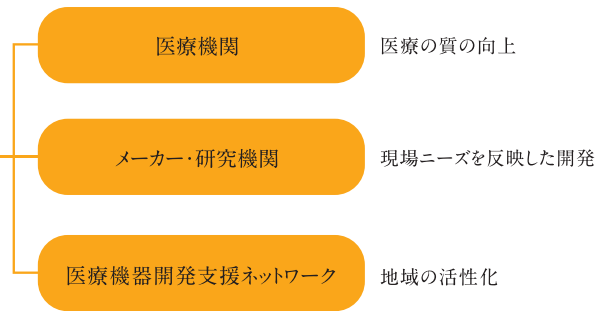
地域医療振興協会
飯塚市立病院

可能性を広げる、“市中病院との連携”。

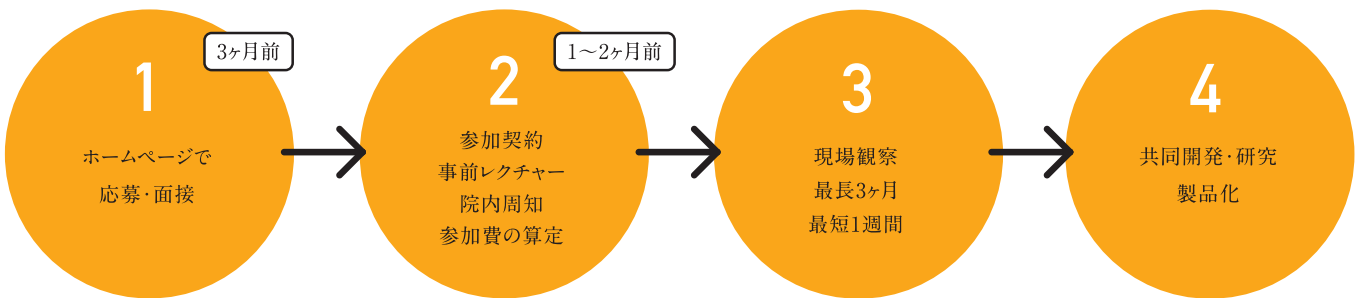
診療を主とする「市中病院」と連携しているからこそ、「実際の医療現場の声」を反映させることができます。



軽症者への診療から手術を必要とする重症者への診療まで、幅広く観察できます。



メディコラボプログラムの流れ

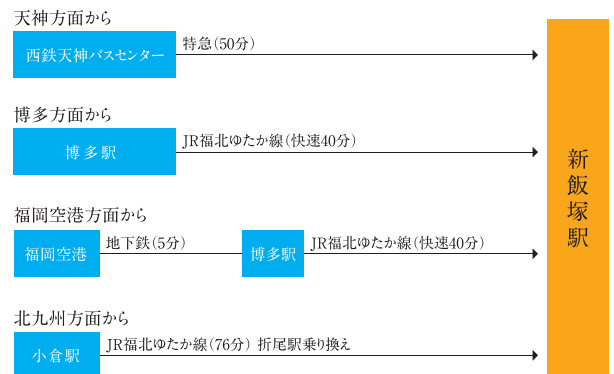


- プログラム参加人数は、各施設最大4人となります。
- 診療科や部署の状況で観察できない場合もあります。
- 観察時には指定のユニフォームを着用いただきます。
- 事前に観察希望の診療科や部署をお聞きし、それに基づきIPOが受け入れ調整を行います。
- プログラムに参加する組織および参加者には、契約書・誓約書に同意いただく必要があります。
- プログラム参加費につきましては、参加期間などで異なります。

飯塚地域の3病院がフィールドです

	飯塚病院 	飯塚市立病院 	済生会飯塚嘉穂病院 
病床数	1,116床 一般病床 978床 精神病床 138床	250床 一般病床 150床 地域包括ケア病床 50床 回復期リハビリテーション病床 50床	198床 一般病床 108床 地域包括ケア病床 26床 回復期リハビリテーション病床 44床 緩和ケア病床 20床
診療科目 / スタッフ数	41科・部 / 2,443人	15科 / 354人	16科 / 241人

※2016年7月1日現在のデータです。



事務局 飯塚病院イノベーション推進本部

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町3-83
TEL:0948-29-8207 FAX:0948-29-8747 E-mail:koubou@aih-net.com
URL: http://aih-net.com/medicolabo/ (10月末開設予定)

「飯塚メディコラボ キックオフイベント(医工学連携フォーラム)」
 &「医療機器ニーズ発表・マッチング会」のご案内

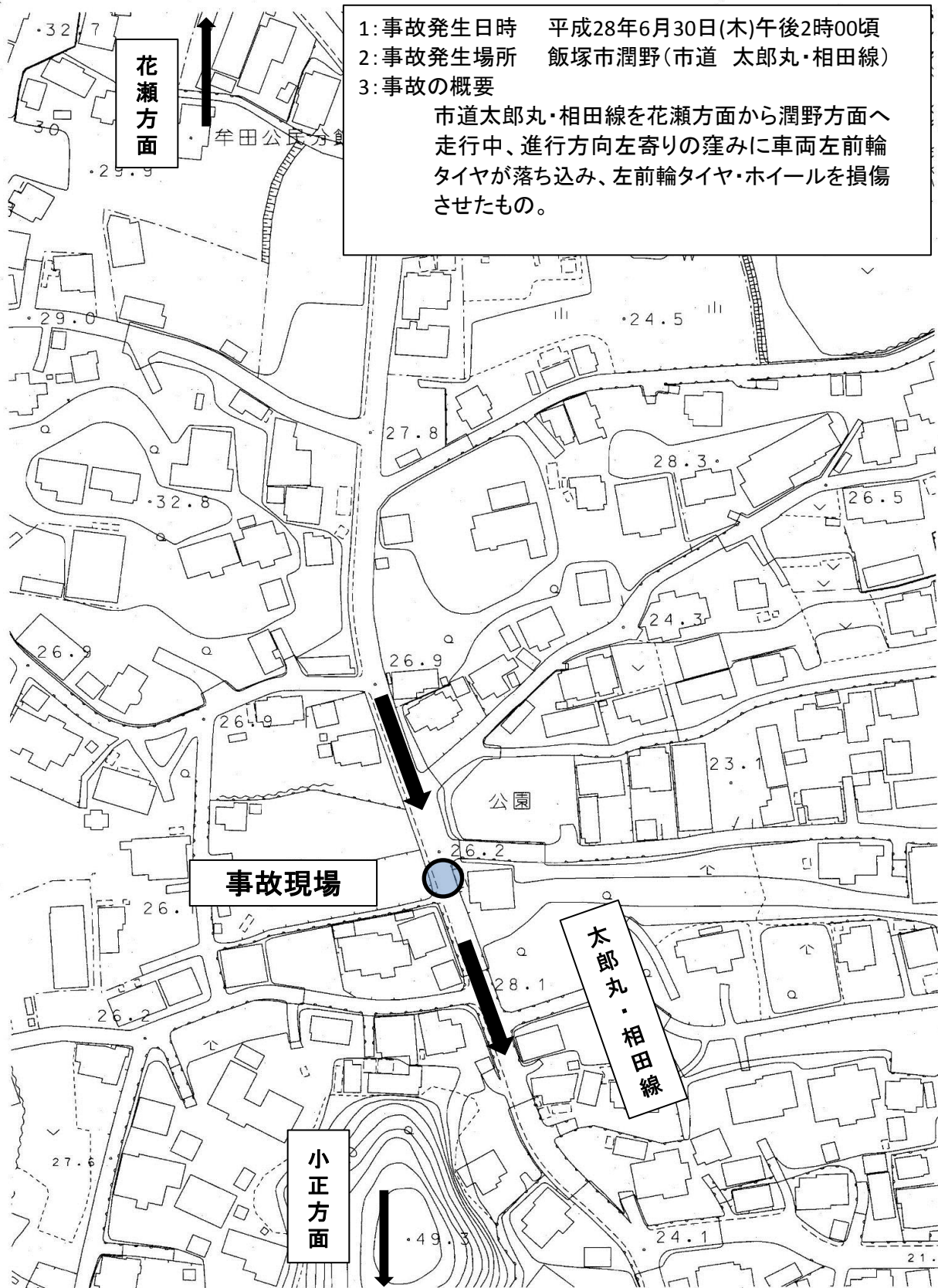
経済建設委員会資料

平成28年9月26日提出

<p>日時</p>	<p>1日目：平成28年10月20日（木）14：00～19：00 2日目：平成28年10月21日（金）9：30～16：30</p>
<p>会場</p>	<p>のがみプレジデントホテル</p>
<p>内容 (予定)</p>	<p>〈1日目〉飯塚メディコラボ キックオフイベント(医工学連携フォーラム、施設見学、交流会) 【日時】平成28年10月20日（木）14：00～19：00 【場所】のがみプレジデントホテル 4階 王朝 （所在地：福岡県飯塚市新立岩12-37） 【次第】 （第1部：医工学連携フォーラム「市中医療機関連携による国内初の医療イノベーションの取り組み」） 13:30～ 受付 14:00～14:05 開会挨拶 14:05～14:35 飯塚メディコラボについて 飯塚病院 院長 増本陽秀 氏、イノベーション推進本部 稗島武 氏 14:35～16:15 講演・パネルディスカッション （登壇予定者） ・東京大学 医療イノベーションイニシアティブ 前田祐二郎 氏 ・東京大学 Japan Biodesign フェロー 田島知幸 氏、桑木織葉 氏、内田貴之 氏 ・飯塚病院 副院長 名取良弘 氏 ・飯塚市立病院 管理者 武富章 氏 ・福岡県済生会飯塚嘉穂病院 院長 迫康博 氏 （モデレータ）一般社団法人日本医工ものづくりコモンズ 専務理事 柏野聡彦 氏 16:15～16:25 飯塚地域における取組みについて 飯塚研究開発機構 研究開発部長 中村裕章 16:25～16:30 閉会挨拶 飯塚市 経済部長 田中淳 氏 （第2部：施設見学、交流会） 16:40～17:40 施設見学（飯塚病院 イノベーション推進本部など） 及び福岡県内企業開発品展示、病院紹介ビデオの見学 17:50～19:00 参加者交流会 〈2日目〉ニーズ発表会、マッチング会（個別面談会） 【日時】平成28年10月21日（金）9：30～16：30 9:30～ 9:45 開会 地域の支援制度の紹介 等 9:45～11:15 ニーズ発表会 飯塚病院、福岡県済生会飯塚嘉穂病院、飯塚市立病院 11:30～16:30 マッチング会（個別面談会） 医療機器製販メーカー、九州のものづくり企業</p>
<p>主催</p>	<p>公益財団法人飯塚研究開発機構、飯塚病院、飯塚市立病院、福岡県済生会飯塚嘉穂病院、飯塚市、福岡県（ふくおか医療福祉関連機器開発・実証ネットワーク）、大分県・宮崎県（東九州メディカルバレー構想）、九州ヘルスケア産業推進協議会(HAMIQ)</p>
<p>参加対象者</p>	<p>①医療機器分野への参入を目指す九州のものづくり企業 ②専門医療機器メーカー、医療機器販売企業 ③医療機関 等</p>

1. 潤野の車両損傷事故 事故現場見取図

経済建設委員会資料
平成28年9月26日提出



2. 菰田西3丁目の車両損傷事故 事故現場見取図

経済建設委員会資料
平成28年9月26日提出

